



国立医薬品食品衛生研究所 特別講演会（殿町#4）

日時：2018年10月12日（金）16:00-17:30
（開場15:30）

場所：国立医薬品食品衛生研究所 2階 共用会議室

講師：石岡憲昭 先生

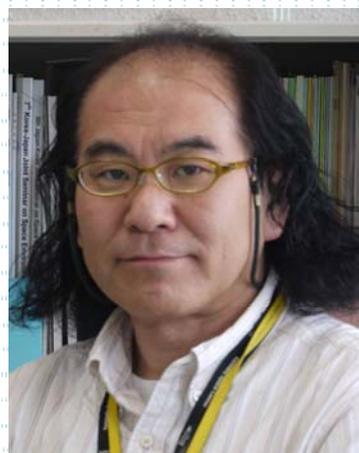
宇宙航空研究開発機構（JAXA）

宇宙科学研究所

学際科学研究系 教授

講演：

人類の活動領域を宇宙に
求めて—宇宙に生きる—



要旨：

今や、宇宙旅行や仕事、生活は国際宇宙ステーション（ISS）を中心に現実のものとなり、さらに月基地から火星移住へと人類はまさにその活動領域を広げようとしている。宇宙で暮らすとヒトはどうなるのだろうか？ 私たち人類が宇宙に長期間滞在し、生活していくといろいろな生理変化が起きる。ほとんどの生理変化は重力がない状態に順応して適応点に収束する。しかしながら骨量の減少と放射線の影響は増加し続け、最終的には医学的な問題となってくる。筋肉についても同様に筋力は弱くなり萎縮する。これらは有人宇宙開発において解決しなければならない古くて今なお新しい課題の一つである。また宇宙放射線による影響は、これまでの細胞や小動物を用いた宇宙実験の結果から、長期間の蓄積による影響が懸念されている。さらに特殊な閉鎖環境における精神、心理に関しても今後の大きな課題である。人類が宇宙に進出する上で、宇宙環境が生物にどのような影響をおよぼすか、生物はどんな反応をするのかを十分に理解することが今まで以上に求められる。これまでの宇宙開発や研究を振り返りながら、人類が未来に向けて宇宙をどのように活用し利用して行ったらよいのかについて考えたい。

お問い合わせ先

210-9501 神奈川県川崎市川崎区殿町3丁目25-26
国立医薬品食品衛生研究所 衛生微生物部 菊池裕
kikuchi@nihs.go.jp / 044-270-6573